

令和2年度活動計画

新型コロナ感染拡大が収まらない中での令和2年度の活動計画は例年と異なる内容にせざるを得なくなりましたが、藍蓼会の活動の主旨である「会員相互の親睦をはかり、母校の発展に寄与すること」を目的に下記のように行います。

1、卒業生データの整備と管理

- ・今年度も継続的に卒業生データ整備と管理を行います。正確なデータを保持していくことは藍蓼会のすべての活動の基盤となっています。また、平成23年からは文教大学と共同利用しています。

2、支部活動の活性化の促進

- ・各県支部総会、研修会、新年会等へ講師を派遣します。
- ・支部運営費を支出し、支部活動を支援します。
- ・県支部活動再開の働きかけを行います。
- ・新支部設立にむけて積極的に支援を行います。

3、会報「あいたで」の発行

「あいたで」を年2回発行し、会員約3万6千名に発送します。

内容は藍蓼会の行事、各県支部の動向、クラブOB・OG会、クラス会の報告、大学の現況、大学からのお知らせ、会員から寄せられる近況などを掲載し、藍蓼会の活動記録とともに、会員間の親睦をよりいっそう深めることができる会報「あいたで」を目指します。

- ・「あいたで 108号」 令和2年7月発行
- ・「あいたで 109号」 令和2年12月発行

4、ホームページの管理と更新

会報「あいたで」とともに藍蓼会と会員の連携をよりいっそう充実させます。

- ・内容の管理と定期的更新を行います。

5、財政基盤の確立

- ・在学生の入会促進をはかります。
- ・正会員の終身会費未納者に納入を促します。
- ・卒業生非会員の入会促進をはかります。

6、本部主催事業について

永年、文教大学に奉職され、令和3年3月をもってご退職なされる12名の教職員の皆様に卒業生からの感謝の気持ちをこめて記念品をお贈りします。

7、会員相互の交流の促進

- ・会員同士の親睦や研修活動を援助します。
会員が研修活動（会員が中心になっている研修会）や親睦会（クラス会・クラブOB、OG会）を行う場合に援助します。

8、準会員の学生活動・生活の援助

学生活動への援助

- ・学生活動一般援助
クラブ活動や行事に援助します。
- ・学生活動特別援助
全国大会に出場するクラブ等に援助します。

学生生活への援助

突発的な事由によって大学生活を維持することが困難な学生（準会員）に援助します。

9、文教大学学園校友会について

- ・校友会の活動に協力し、各校友団体と情報交換を行います。